

子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告資料

令和6年10月16日

報告事項件名	頁
1 足立区こども計画審議会の進捗状況及び今後のスケジュールについて・・・	2
2 「アダチ若者会議」の実施結果について・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3 令和6年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業 （アダチワークわーく in Summer）の実施結果について・・・・・・・・	7
4 アダチ子どもの未来応援基金を活用したフードパントリー運営団体への 補助の拡充について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9

（ 政策経営部 ）

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和6年10月16日

件 名	足立区こども計画審議会の進捗状況及び今後のスケジュールについて												
所管部課名	あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課												
内 容	足立区こども計画審議会の進捗状況等について、以下のとおり報告する。 1 第1回足立区こども計画審議会の開催結果（8月27日開催） （1）出席人数 17名（審議会委員は「別紙1」参照） （2）主な議題 ア 第一部 （ア）会長及び副会長の選出 （イ）諮問 イ 第二部 （ア）計画策定の主旨と方向性、計画策定の検討素材の説明 （イ）意見交換 （3）委員からの主な意見 ア 夢の後押しと現実的な支援の両立 イ 地域の取り組みを活かして子どもや親をサポート ウ 子どもや若者自身が居場所や進路など自分で選択できる環境となることが望ましい エ 情報格差を無くすことに力を入れる オ 少子化社会対策は広域自治体で取り組むべき 2 こども計画策定までのスケジュール（予定） <table border="1"> <thead> <tr> <th>予定時期</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～令和7年8月</td><td>こども計画審議会での調査審議</td></tr> <tr> <td>令和7年9月</td><td>区長への答申</td></tr> <tr> <td>令和7年9月</td><td>パブリックコメント</td></tr> <tr> <td>令和7年11月</td><td>パブリックコメント結果 子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告</td></tr> <tr> <td>令和7年12月</td><td>こども計画 議会報告</td></tr> </tbody> </table> 3 今後の方針 （1）足立区こども計画審議会における審議の進捗については、引き続き、子ども・子育て支援対策調査特別委員会において報告を行っていく。 （2）審議内容や答申をもとに、庁内検討部会において、こども計画に関して調査、研究を行うとともに、策定作業に取り組んでいく。	予定時期	内容	～令和7年8月	こども計画審議会での調査審議	令和7年9月	区長への答申	令和7年9月	パブリックコメント	令和7年11月	パブリックコメント結果 子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告	令和7年12月	こども計画 議会報告
予定時期	内容												
～令和7年8月	こども計画審議会での調査審議												
令和7年9月	区長への答申												
令和7年9月	パブリックコメント												
令和7年11月	パブリックコメント結果 子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告												
令和7年12月	こども計画 議会報告												

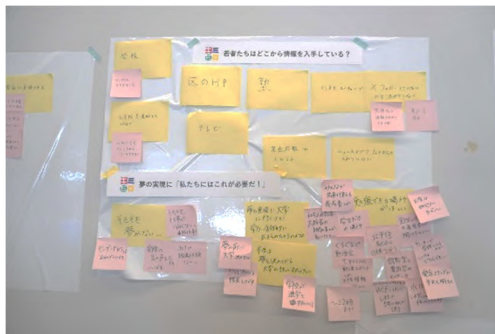
足立区子ども計画審議会委員名簿（１８名）

※選出区分ごとに氏名の五十音順

	氏名（敬称略）	所属・役職 等	備考
学識経験者 委員	あ べ 彩 阿部 彩	東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 教授	
	す え と み か お り 末富 芳	日本大学 文理学部 教育学科 教授	
	ふ じ わ ら た け お 藤原 武男	東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 教授	会長
	や ま だ て つ や 山田 哲也	一橋大学 大学院 社会学研究科 教授	
区内有識者 委員	か と う や す ひ ろ 加藤 泰弘	東京都立青井高等学校校長	
	か わ か み し げ あ き 川上 重昭	足立区民生・児童委員協議会第三合同会長	
	た か ぎ ま さ よ 高木 政代	ソーシャルワーク・アドバイザー	
	な か や ま い さ な 中山 勇魚	特定非営利活動法人 Chance For All 代表理事	
公募委員	お の あ か ね 小野 茜		
	き く ち み の り 菊地 美穂		
	た な か ゆ う や 田中 優哉		
	や ま ざ き ま も る 山崎 衛		
区議会議員	お お た せい い ち 太田 せいいち	足立区議会議員	
	し ぶ や り ゆ う い ち しぶや 竜一	足立区議会議員	
	ぬ か が か ず こ ぬかが 和子	足立区議会議員	
	み ず の あ ゆ み 水野 あゆみ	足立区議会議員	
区職員	な か む ら あ き よ し 中村 明慶	教育長	
	は せ が わ か つ み 長谷川 勝美	副区長	副会長

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和6年10月16日

件名	「アダチ若者会議」の実施結果について													
所管部課名	あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課													
内容	若者から区の施策や要望について直接意見を聴き、区の若年者施策への反映を目指す「アダチ若者会議」の実施結果について、以下のとおり報告する。													
	1 概要													
	<table><tr><th>項目</th><th>第1回アダチ若者会議 (高校生世代版)</th><th>第2回アダチ若者会議 (大学生・社会人版)</th></tr><tr><td>開催日時</td><td>令和6年8月4日(日)</td><td>令和6年9月6日(金)</td></tr><tr><td>会場</td><td colspan="2">あやセンターぐるぐる</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>12名(申込は13名) ※大学生2名がファシリテーターとして参加</td><td>9名(申込は11名) ※オンラインで1名参加</td></tr></table>		項目	第1回アダチ若者会議 (高校生世代版)	第2回アダチ若者会議 (大学生・社会人版)	開催日時	令和6年8月4日(日)	令和6年9月6日(金)	会場	あやセンターぐるぐる		参加者数	12名(申込は13名) ※大学生2名がファシリテーターとして参加	9名(申込は11名) ※オンラインで1名参加
	項目	第1回アダチ若者会議 (高校生世代版)	第2回アダチ若者会議 (大学生・社会人版)											
	開催日時	令和6年8月4日(日)	令和6年9月6日(金)											
会場	あやセンターぐるぐる													
参加者数	12名(申込は13名) ※大学生2名がファシリテーターとして参加	9名(申込は11名) ※オンラインで1名参加												
2 若者から出てきた主な意見														
(1) トークテーマ「夢の実現に私たちにはこれが必要だ！」														
	<table><tr><th colspan="2">高校生世代の意見(一例)</th></tr><tr><td>悩み・相談</td><td>その道のプロや働いている人の生の声を聴く機会がほしい</td></tr><tr><td rowspan="2">学び</td><td>関わりが持てて、相談ができる大学生のチューターが高校にいてほしい</td></tr><tr><td>私立学校の学費が高いから給付金がほしい</td></tr><tr><td rowspan="2">居場所</td><td>勉強や楽器の演奏、スポーツができる場所がほしい</td></tr><tr><td>高校生が集まれる場所(コミュニティ)がほしい</td></tr><tr><td>その他</td><td>コロナでできなかったイベントをやりたい(卒業旅行、入学式、足立区版「18祭」)</td></tr></table>		高校生世代の意見(一例)		悩み・相談	その道のプロや働いている人の生の声を聴く機会がほしい	学び	関わりが持てて、相談ができる大学生のチューターが高校にいてほしい	私立学校の学費が高いから給付金がほしい	居場所	勉強や楽器の演奏、スポーツができる場所がほしい	高校生が集まれる場所(コミュニティ)がほしい	その他	コロナでできなかったイベントをやりたい(卒業旅行、入学式、足立区版「18祭」)
高校生世代の意見(一例)														
悩み・相談	その道のプロや働いている人の生の声を聴く機会がほしい													
学び	関わりが持てて、相談ができる大学生のチューターが高校にいてほしい													
	私立学校の学費が高いから給付金がほしい													
居場所	勉強や楽器の演奏、スポーツができる場所がほしい													
	高校生が集まれる場所(コミュニティ)がほしい													
その他	コロナでできなかったイベントをやりたい(卒業旅行、入学式、足立区版「18祭」)													
														

大学生・社会人の意見（一例）	
関わり	街の活性化を目指し、街の人と若者がボランティアやプロジェクトを通じて関わる機会の創出
補助	使用用途が決まった支援（パソコン代、若者版シルバーパス、海外留学、大学の教材購入にも使える書籍のクーポン）
資格取得	通信講座の受講費用や受験料の支援
居場所	お金がかからずふらっと入れるスペース（夜間利用ができる、地元の友達ができる、若手創業者向けに安価な賃料で入居できる事務所が備わっている）



3 参加者の感想

（1）高校生世代

- ア 発言しやすい場で自分の意見をはっきり伝えられてよかった。
- イ 足立区にこうやって色々意見が言う事ができてよかったです。
- ウ 色々な考えを持った人と意見の交流ができて楽しかったです。



（2）大学生・社会人

- ア このような機会があること自体に大きい意味があると思います。属性がバラバラだからこそ、多くの気づきや共感が得られました。
- イ 若者の意見（自分の思いや考え）を区に伝える機会に今まで参加したことがなかったため、参加できたことを嬉しく思います。
- ウ 他の世代の方や、多くの人と話すことができるとさらに楽しめると思いました。



4 その他の動き

日程	実施方法
8月23日～ 11月30日	「きかせて!みんなのいけん」で意見を募集 (オンライン)
9月25日	淵江高校にて実施 (アウトリーチ型)
9月27日	青井高校にて実施 (アウトリーチ型)
10月頃 (日程調整中)	高校生世代の居場所型学習支援の2拠点に て実施

5 集まった意見の活用方法

(1) 若年者支援協議会で検討

若年者支援協議会のチャレンジ応援会議および代表者会議において、集まった意見をもとに新たな支援策を検討し、構築していく。

(2) 新たに策定する「こども計画」に活用していく。

(3) 区のホームページを通じて、実施報告をお知らせしていく。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和6年10月16日

件 名	令和6年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業（あだちワークわーく in Summer）の実施結果について																															
所管部課名	あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課																															
内 容	「こどもまんなか社会」の実現に向け、未来を担うすべての子どもたちが、経験・体験を通して夢や希望を持てる契機となるよう、夏休み期間中において、一部の区有施設等の子どもの利用料等や体験講座等の無料化を実施した。実施状況について、以下のとおり報告する。 1 対象者 18歳までの子ども 2 区有施設等の無料化及び体験講座等の無料化の実施結果 利用者 68,100人（想定約6万2千人）110% 3 区有施設等の無料化 新 規 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th><th>利用者内訳</th><th>利用者合計 (令和5年度参考値※)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区立プール</td><td>高校生 679人 中学生以下 23,834人</td><td>24,513人 (18,543人)</td></tr> <tr> <td>総合スポーツセンター 大・小体育室、地域体育館</td><td>高校生 873人 中学生以下 2,559人</td><td>3,432人 (1,703人)</td></tr> <tr> <td>ギャラクシティ・まるち たいけんドーム</td><td>高校生以下</td><td>8,973人 (7,993人)</td></tr> <tr> <td>生物園</td><td>高校生 750人 小中学生 6,249人</td><td>6,999人 (6,140人)</td></tr> <tr> <td>北鹿浜公園バッテリーカー</td><td>小学生</td><td>1,643人</td></tr> <tr> <td>〃 ミニ列車</td><td>小中高生</td><td>(1,554人)</td></tr> <tr> <td>大谷田南公園ミニ列車</td><td>小中高生</td><td>195人 (116人)</td></tr> <tr> <td>区内銭湯（23カ所）</td><td>中高生 11,821人 小学生 6,671人 未就学児 1,993人</td><td>20,485人</td></tr> <tr> <td></td><td>合計</td><td>66,240人</td></tr> </tbody> </table> ※ スイムスポーツセンターは令和5年度にプール及び体育館を改修したため利用実績なし ※ 区立プール及び総合スポーツセンター体育室、地域体育館は令和5年度の高校生の利用者は含まれていない ※ 区内銭湯は令和5年度中の実績を把握していないため非表示		施設	利用者内訳	利用者合計 (令和5年度参考値※)	区立プール	高校生 679人 中学生以下 23,834人	24,513人 (18,543人)	総合スポーツセンター 大・小体育室、地域体育館	高校生 873人 中学生以下 2,559人	3,432人 (1,703人)	ギャラクシティ・まるち たいけんドーム	高校生以下	8,973人 (7,993人)	生物園	高校生 750人 小中学生 6,249人	6,999人 (6,140人)	北鹿浜公園バッテリーカー	小学生	1,643人	〃 ミニ列車	小中高生	(1,554人)	大谷田南公園ミニ列車	小中高生	195人 (116人)	区内銭湯（23カ所）	中高生 11,821人 小学生 6,671人 未就学児 1,993人	20,485人		合計	66,240人
施設	利用者内訳	利用者合計 (令和5年度参考値※)																														
区立プール	高校生 679人 中学生以下 23,834人	24,513人 (18,543人)																														
総合スポーツセンター 大・小体育室、地域体育館	高校生 873人 中学生以下 2,559人	3,432人 (1,703人)																														
ギャラクシティ・まるち たいけんドーム	高校生以下	8,973人 (7,993人)																														
生物園	高校生 750人 小中学生 6,249人	6,999人 (6,140人)																														
北鹿浜公園バッテリーカー	小学生	1,643人																														
〃 ミニ列車	小中高生	(1,554人)																														
大谷田南公園ミニ列車	小中高生	195人 (116人)																														
区内銭湯（23カ所）	中高生 11,821人 小学生 6,671人 未就学児 1,993人	20,485人																														
	合計	66,240人																														

4 体験講座等の無料化 継 続

(1) 対象講座

84 講座（令和5年度：43 講座）

ア 将来の夢や仕事につながる講座

イ 夏休みの自由研究等に役立つ体験

(2) 実施場所

生涯学習センター、地域学習センター、ギャラクシティ、生物園、都市農業公園、花畑公園・桜花亭、愛恵まちづくり記念館

(3) 利用者数

約1,860人（令和5年度：約1,000人）

5 利用者の声

(1) 施設無料化

ア 無料となったことで毎日のように利用している。

イ 施設が無料であることを知らずに来場したが、無料で利用できてラッキーだった。

(2) 体験講座等の無料化

ア 分かりやすく教えてもらったので、とても楽しかった。

イ 読書感想文の書き方など、勉強になった。

ウ 日本の伝統文化や歴史に興味を持つことができた。

エ 親子が無料で参加できてよかった。

6 施設の無料化の関係者の声

(1) 無料としたことで、子どもたちや保護者は喜んでいる。

(2) 過去、有料としていた時に、友達同士で来ても、お金を持っている子は入場できたが、持っていない子は入場できず、外で待っている状況があった。本事業を実施したことで、夏休み期間中ではあるが、そういった状況はなくなったことは良かった。

(3) お盆の時期が混んでいた。

7 今後の方針

施設を管轄する担当課と事業実施における課題等を整理し、次年度以降に向けて実施方法等を検討する。

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和6年10月16日

件 名	あだち子どもの未来応援基金を活用したフードパントリー運営団体への補助の拡充について
所管部課名	あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課
内 容	あだち子どもの未来応援活動助成金のうち、足立区フードパントリー運営団体支援事業補助金について、物価高騰による影響や団体の運営状況等を鑑み、以下のとおり、補助額等を変更する。 1 対象 (1) フードパントリー（食品を無料で配布する活動）を行う活動団体 2 補助拡充の経緯 (1) フードパントリーの活動状況を確認するため、令和6年7月にアンケートを実施。その結果、フードバンク等から提供される食品などが減り、各団体が自己負担で食材を確保する等の対応をしているが、支援者に十分な食材を届けられていないとの声が多かった。 (2) 都や他の自治体における同様の補助は10割補助が主であり、かつ、補助額も足立区より高いことから、区内のフードパントリー団体がより活動しやすいよう、いずれも増額した。 3 変更項目 (1) 例月開催事業【拡充】 ア 補助上限額 30万円 → <u>60万円</u> イ 補助率 4分の3 → <u>10分の10</u> (2) 物価高騰対策分を例月開催事業に一本化 各フードパントリーの利用者の増加や、フードバンクからの供給量の減少などにより、フードパントリー団体の負担増を見込んで特別対策として行っていた物価高騰対策分を経常化する。 4 予算措置 9月補正で予算計上

5 これまでのフードパントリー団体への支援経過

	R3 年度 (当初)	R3 年度 (枠内対応)	R4 年度	R5 年度	R6 年度 (当初)	R6 年度 (9 月補正)
例月開催 補助率	20 万円 3/4 ※4 年目以 降は 1/2	30 万円				60 万円 10/10
冷蔵庫・ 冷凍庫購入	—	10 万円				
長期休業	—	50 万円				
物価高騰 対策	—	—	—	10 万		—

6 現在の対応状況

- (1) 足立区フードパントリー運営団体支援事業補助金交付要綱を改正
- (2) 令和 6 年 9 月 2 0 日～1 0 月 4 日に足立区フードパントリー運営団体支援事業補助金の第 2 期募集を実施
- (3) 第 1 期に申請した団体も拡充等の対象となることを個別に周知

7 今後の方針

- (1) 令和 6 年 1 1 月に「あだち子どもの未来応援基金審査会」を開催し、フードパントリー運営団体支援事業補助金の申請内容を審議する。
- (2) フードパントリー団体においても、さらに補助金使途の透明性が求められることから、団体の活動状況の現地確認や、ヒアリング等において透明性の確保に努めていく。
- (3) 子ども食堂については、都の補助を活用している団体が主であるが、区の支援についてどのようなことを求めているか、今後アンケートを実施する。